

町指定文化財

7 部田の祭りばやし



傍示本、祐福寺、部田の各地区では、徳川時代初期より各神社の秋祭り、末社の祭礼、月並祭等には、必ず「かがりあげ」として“祭りばやし”が奉納されました。

「かがりあげ」は、そこに住む人々の心のあらわれであり、五穀豊穰・家内安全・村中安全への祈りでした。

現在は部田地区のものだけが伝えられています。